

聖化

Japan Holiness Association

[発行] 日本聖化協力会

2017.5.22
No.61



心を一つにしてホーリネスの宣証を

チャーチ・オブ・ゴッド川崎キリスト教会 牧師

古波津保秀

本年より関東聖化交友会会長の任を小さき者が拝命致しました。ご挨拶を兼ねて、ヨハネ一七章よりみことばを分かち合いたいと存じます。

ヨハネ一七章の「大祭司の祈り」は、おおよそ三つの課題のための祈りです。

第一の祈りは「主ご自身のための祈り」、第二の祈りは「弟子たちのための祈り」、第三の祈りは今に続く「教会のための祈り」です。

最初の「主ご自身のための祈り」の要点は、1節の「子の栄光を現してください」という祈りです。明日は十字架という、限られた時間しかない時に、どうして「子の栄光を現してください」と主は祈られるのでしょうか。御子の栄光とはどのような栄光でしょうか。それは受難の前に、主自らが弟子たちに何としても見せたいと願われた栄光でした。その栄光とは、世界が存在する前に「御父とご一緒」に持っていた栄光（5節、24節）、御子が父なる神と親しく交わり、御父と一つであられるという永遠の栄光です。

第二の祈り「弟子たちのための祈り」（8節以降）と、第三の祈り「教会のための祈り」（20節以降）において、主が願われたことは、永劫の昔から御父と御子が一つであられるように、私たちが一つ

になるという祈りです。何という驚くべき啓示でしょう。御父と御子が一つであるように、私たちも一つとなることは到達しがたい栄光です。だからこそ、主はいのちを注いで祈られたのです。この一致は世の中の権力や思想から来るものではなく、父なる神の御名の中（11節）にあり、またイエス様のおられるところ（24節）にあるものです。そのために主は、一致を妨害する一切の悪からきよめるために「弟子たちの聖別」を祈られます（17節）。主によるきよめのみわざは、教会の一致と福音宣教（20節）のために欠かすことのできない神のみわざです。私たちに求められ、託された一致は「世の始まる前から御父と御子をもっておられた栄光」から産み出されたものです。

国と国、民族と民族とが争う時代、国が右翼化しつつある時代にあって、ますます教会が一つになることが求められています。すでに1985年12月2日にホーリネス陣営の諸先生方によって日本聖化交友会が産み出されましたが、その中に教団教派を越えた麗しい一致が見られます。今後、私たちは先達の先生方の一致を踏襲し、それを深め、御父と御子にある栄光を求め、大いなる情熱をもって聖化運動を展開して参りたいと存じます。

もくじ

- 巻頭言メッセージ…………… p.1
- 若者に聖化の恵みを、書籍の紹介 …… p.6
- 創立30周年全国大会講演その3 …… p.2-3
- レクチャー博士紹介、2018年講師 …… p.7
- 主は近くに来てくださる（証し） …… p.4-5
- 今年の聖化大会日程、編集後記 …… p.8

日本聖化協力会創立30周年記念全国大会 講演

日本における聖化運動の歴史

第3回 戦後のホーリネス運動と将来への提言

日本イエス・キリスト教団 香登教会牧師 工藤弘雄

柘植不知人は1913年、日本伝道隊の歡樂街伝道の結実の一人です。ウィルキンスの説教で一夜にして回心。聖書学校で学び、1916年、鮮明なペンテコステ経験。1922年、有馬修養会を最後に日本伝道隊から独立、東京下落合に「基督伝道隊」通称「活水の群」設立。藤村莊七らと共に「全ききよめ」「神癒」をもって文字通り火の流れとなつて日本を席卷しました。

1923年、日本伝道隊宣教師M・A・バーネットは舟喜、佐野らとともに中央日本開拓伝道団の働きを開始。初期には小島、秋山らも協力、舟喜順、羽鳥明らはその働きの中で入信、献身。戦後、組織を定め、福音伝道教団を結成しました。

1924年、日本伝道隊の中心的存在であった竹田は湊川伝道館の群れとともに独立、「神戸復興教会」設立、市内開拓伝道、春秋の聖会を展開。安藤仲らは竹田と行動を共にし、小豆正夫らはこれらの働きで入信、献身しました。新しい時期を迎えた日本伝道隊は1924年、澤村五郎を校長に要請。小島伊助らがこれを助け、1930年に塩屋に移転。今日まで千百名を超える

伝道者、牧師が同校から輩出しました。既成教会教師派遣の門戸が閉ざされる中で、日本伝道隊は教会のない新天地に開拓伝道を進展。この前進運動により、佐藤邦之助らの香登教会を中心とした「イエス・キリスト召団」、神戸を中心に堀内文らの「聖書教会」が、1935年合同して「日本イエス・キリスト教会」となり、戦後の日本イエス・キリスト教団の布石となりました。

1937年、バックストンは20年ぶりに来日、半年に及ぶ各地の聖会は「松江バンド」を総動員するものとなり、バックストンにとっては「奉仕の冠」、戦前における聖化運動においては総括、総結集の大輪の花となりました。

戦後におけるホーリネス運動

アジア・太平洋戦争の苦悩を経て、戦後、地下水が湧き出るように聖化運動が進められました。その地下水脈のついに戦前（1940年以降）、葛田二雄らを中心として教派の枠を超えて展開しつつあったリバイバル・リーグの運動があります。

戦後における聖化運動は、まず聖化に基づく教団形成がありまし

た。戦前からの団体で戦後復帰した団体に日本伝道隊（1903）、日本宣教会（1923）、活水基督教団（1930）、基督伝道隊（1939）、東洋宣教団きよめキリスト教会（1940）などがあります。

戦前からのホーリネス教団の流れを受け継ぎつつも新しいビジョンをもち、日本基督教団から離脱するか、あらたに結成する教団が次々と起こされました。

イムマヌエル綜合伝道団（1945）、基督兄弟団（1946）、日本基督教団ホーリネスの群（1946）、日本ホーリネス教団（1946）、日本福音教団（1952）、基督聖教団（1952）、日本福音教会連合（1971）、ウエスレアン・ホーリネス教団（1992）などです。バックストン、ウィルキンスらの英国国教会系のホーリネスの流れを受け継ぐものとして、前述の日本伝道隊（1903）、日本イエス・キリスト教団（1951）、前述の「活水の群」とキリスト伝道隊（1987）、それに英国メソジスト系の救世軍（1895）などがあります。米国メソジストのホーリネスの流れを汲む教団として、日本ライアンズ教団（1951）、日本ナザレン



一昨年10月に開催された日本聖化協会創立30周年記念全国大会、午後のパネル・ディスカッションにおいて、お二人の先生に講演をしていただきました。松沢力男先生の「日本聖化協会のビジョン」、そして工藤弘雄先生の「日本における聖化運動の歴史」です。

講演に際して工藤先生はたいへん詳細な行き届いた資料をレジュメとして用意してくださいました。それに基づいて改めて日本での聖化運動の歴史をまとめていただきました。今回は戦争に向かう厳しい時代に果敢に進められた宣教の働き、そして戦後のホーリネス運動を扱っています。最後に、今後の宣教に繋がる聖化の可能性を示してくださいました。

教団（1953）、日本自由メソヂスト教団（1953）、東京フリー・メソヂスト教団（1953）、シオン・キリスト教団（1953）、チャーチ・オブ・ゴッド（1962）、日本フリーメソヂスト教団（1984）などがあります。

聖書信仰に立ち、聖化の信仰と体験を重んじ、所属教団及び諸教派へ伝道者を送り出す伝道者養成、神学教育もホーリネス運動の必要不可欠な原動力でした。東京聖書学院、東京聖書学校、関西聖書神学校、イムヌエル聖宣神学院、基督兄弟団聖書学院、ウエスレアン・ホーリネス神学院、救世軍士官学校、活水聖書学院などがあります。

戦後の超教派的聖化運動に聖化を標榜する教団の連盟として1951年設立された日本福音連盟（JEF）の働きがあります。初代理事長に平出慶二、2代目車田秋次の時代に『聖歌』（中田羽後編集）発行、3代目安藤伸一の時代に『日本福音同盟』設立に、三創立会員の二つとして、日本プロテスタント聖書信仰同盟（JPC）、日本福音宣教師団（JEMA）と共に参加しました。さらに聖書の聖化を求め、学び、体験し、交わり、教団、教会、個人が自

由に参加できる日本聖化協会（JHA）が本田弘慈を初代会長に1985年発会。それ以前の「ジョン・ウエスレーに学ぶ会」はじめ全国各地の10地域聖化交友会とのネットワークの中で聖化運動を推進、2008年、『福音文書刊行会』（EPA）とも一体化し、より広く聖化運動が進められてきました。2015年、30周年記念全国大会において、日本における聖化運動の光と影を背景に「筋縄では行かない教団、教派がまるで一人のごとくつと主の臨在の下に集まり、聖化のリバイバルを求める光景は不思議でもあり、壮観でもありました。

戦後の聖会開催における聖化運動に戦前から受け継がれてきた諸団体内の聖会、バックストン聖会はじめ超教派の聖会があります。広くは1962年、ワールドビジョン後援のクリスチャン修養会に端を発した日本ケズイック・コンベンションがあります。

また戦後の福音主義運動における日本福音同盟、日本福音主義神学会の結成や進展、日本伝道会議開催、聖書翻訳事業、新聖書注解・新聖書講解出版事業、『聖歌』『新聖歌』『教会福音讀

美歌』発行・出版、日本福音クルセード（1956、本田クルセード）、ビリー・グラハムやフランクリン・グラハムの諸大会など超教派協力伝道の推進にも聖化運動は運動、浸透してきました。

今、日本における聖化運動の歴史を鳥瞰する中で浮かび上がる諸課題を精査し、聖化のリバイバルへの重荷とビジョンを分かち合うことが求められています。聖化的教会と教会的聖化に基づく教会形成、聖化と宣教、聖化と伝道者養成、聖化と神学研鑽、聖化と社会正義、愛のわざなどの取り組みです。

日本における聖化運動は強力な宣教活動と相まって推進されて来たことは事実です。聖化の信仰は日本における宣教の次元を高め、その目的と方法をより一層純粹化してきました。聖化の究極的ゴールである「見神」（ヴィシオ・デイ）は「神の宣教」（ミッシオ・デイ）へと向かわせました。日本における聖化運動を見る時、聖化を抜きに宣教はなく、宣教に至らない聖化はなかったのです。ですから聖化は宣教の目的であるばかりでなく、何よりも聖化は宣教の手段であり、また動力であったのです。

聖化誌への執筆依頼を受け、証しを書いて欲しいとのことでした。常々証しはしなければならぬと思っておりましたので、お引き受けすることとなりました。

1 救いの恵み

今から55年も昔ですが、高校生の私は強迫神経症という病を得ました。常に不安感がありその不安感が私を非常識な行動に駆り立てるのです。ふすまの開け閉め、ガスの栓の確認などから始まり、段々と不安は広がり、道路の石を片付けるとか、釘の立っている板を見つけて釘を捻じ曲げたりしたのです。何か人を傷付けるのではないかとこの恐れが起るのです。この不安感との戦いのためにテニスの練習に励んだり、不安解消法の本などで不安と戦いますが、いつも負けてしまうのです。高校卒業直前には自分の体を傷つけたら他の人が助かるのではないかと考え、目を傷つけました。この段階で自分はこの不安感に打ち勝つ事はできないと分かり、ついに入院を決意しました。精神病院に入院してみても不安感は治りませんでした。強い薬を飲んで寝たり起きたりでした。今後どうなるのか不安でした。ある日、入院して1月半ほど経ったある日、美しい音色が聞こえてきました。聖書の会をやっているとのことでした。わたしはオルガンの音色に引かれて、ある部屋に入っていくと10人くらいの人がオルガンに合わせて歌っていました。若い牧師さんが説教をしていました。「神様は私たちが過去のことをよくよとして生きることを決して喜ばれませんよ。」と語られました。その言葉はまるで私の心を見透かしているようでした。もし、神様が本当に存在して、過去の

きよめの証し

主は近くにいらっしゃる



希望館チャペル 副牧師

清原 修

事をよくよと生きている自分が間違っているのなら生き方を変えねばならないと思いました。集会後、その先生のところに行き、「神様は本当におられるのですか」と質問すると、「神様は本当におられます。そして聖書の神様は私たちの罪をも赦して下さるお方です。」と答えられました。それは私にとって衝撃的な言葉でした。神様は悪い事をした私たちを罰するはずなのに赦すとは何だろう。罰が当たると幼い時から聞かされていたので、聖書の神は私たちの罪をも赦して下さると聞き、このお方が信じている神様を私も信じたいと心から思いました。その日から私は沸き上がる不安感との戦いの中で、神様に「助けて下さい。自分が心配していることが起こらないようにして下さい。」と祈り始めました。その時に何とも言えない平安が訪れました。前後左右、不安だらけの自分に天に青空が開けたのです。ここに真の解決があると感じました。その不安との戦いの祈りはその後も長く続きます。祈れば平安がくるのですが、またすぐに不安が起こってくるのです。それでまた祈るのです。この繰り返しでした。しかし、私にはここに真の解決があると確信したので、入院後3か月で退院を申し出ました。その年のクリスマスには地元の教会で洗礼にあずかりました。

2 不安感の克服の恵み

大学卒業後、国立武蔵野学院教職職員養成所に入所し訓練と学びを終えて、県立徳島学院の職員となりました。非行を犯した子どもたちと生活を共にした寮生活は大変でもありましたが、やりがいのある仕事でした。そこで、

結婚し、4人の子どもも授かりました。不安との戦いはないわけではありませんが、しかし勝利は確実に近づいていました。「あなたがたは心を騒がせないが良い。神を信じまたわたしを信じなさい。」とのイエス様のお言葉は幾たび、それこそ一万回も私を励まして下さいました。神への信頼が深まるにつれて、不安感が左右されてはならないとの強い思いに至り、不安感からくる行動に走らなくなりました。

3 献身に導かれる

大学時代から考えていた伝道者への道を再考する時が来ました。約20年勤めた徳島学院を退職して、関西聖書神学校に入学する思いを表すと多くの方の反対を受けました。年金の受給資格が取れる前に献身しなくては主に申し訳ないと考え、この道について入らせて頂きました。その後年金受給資格も認められ、子どもたちも苦労しながら、夜学に行ったり、新聞配達などしながら自立していききました。関西聖書神学校は当時、有賀先生、工藤先生、向後先生などから、福音の素晴らしさと、きよめへの導きを受けました。私はこの時期、若い同級生たちより、早く起きて一人、祈禱室に入り、よく祈りました。祈禱室で神様からの訓練や恵みを頂きました。祈禱室で、アブラハムがイサクを捧げる時の苦しみに気づかされました。アブラハムはイサクを返してもらいました。しかし父なる神は、イエス様を完全に捧げられました。この主の愛と犠牲に応えるすべは私たちにはありません。ただ、感謝し、主のみ言葉を大切に生きるほかはありません。神を畏れ敬い、家族や回りの人々を大切に生きる以



外にはありません。実にシンプルな生き方ですが、私たちはそのシンプルな事も達成できないのです。

4 聖霊様の恵み

そうです。自分の力ではどうしようもない罪の性質、自己中心は消えません。助けが必要です。主はそのためにも適確な助け手を与えて下さいました。その方こそ、聖霊様です。見えないイエス様と言っても良いかもしれませんが。このお方との交わりなくして、神の家族の一員として生きることが困難です。日々の現実の助け主はまさしく聖霊様です。聖霊様の助けを得るために祈ります。それはパウロが残している告白と同じです。聖霊様の助けを求めて、私は日々朝に、昼に夕に祈りを捧げます。

「主は近い。何事も思い煩ってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって、祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。そうすれば人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安があなたがたの心と思いとを、キリスト・イエスにあって守るのであろう。」主は近くにいてくださいます。わたしたちも主に近づきます。事ごとに祈って良いのです。いや祈るべきです。大きな事から小さな事も何でも祈って良いし、祈るべきだと教えられます。

父なる神様と、イエス様に感謝し、聖霊様に祈りをもって、お相手して頂いております。この日々は平安です。(現在は、副牧師をさせて頂き、刑務所の教護師として福音を伝え、いのちの電話にも関わり、お伝えしております。)

直次郎 かまける



©富無尽蔵

魅力ある聖化大会に
どうすれば若者に聖化の恵みを伝えられるか

バトンタッチをどのように

今年も各地で聖化大会への準備が重ねられています。すでに終わったところもありますが、8ページに一覧表がありますので、ぜひお祈りください。

そうした中で、この数年、青年たちの集いが盛んになって来たことは感謝です。とても頼もしく思います。世代間のギャップは大きく、若者についていく自信はありませんが、自発的・主体的に働きを進めておられる様子に明るい光を見る思いです。時代も環境もまったく違う世代ですので、きよめの経験や捉え方もきつと大きく異なるでしょう。それで良いと思います。聖霊の働きは世代のギャップを越えて、一人ひとりの心に届いています。

こうした若い世代の働きがさらに活



発になるために、強力なサポートが必要です。まずは青年たちを理解すること、その活動を喜んで受け入れること、そして温かく励ますこと、です。

青年たちの交わりの輪が交友会を越えて広がればと願っています。関東聖化交友会では5月と10月に青年大会が行われます。こうした機会に、互いに引き合うことは可能でしょうか。

JHA 創立 30 周年を記念する画期的な刊行事業！

聖化の説教 全3巻完結 (旧約編2巻、新約編1巻)

日本聖化協会の先生方による説教集 聖書全体を 64 の説教で綴る

『聖化の説教』旧約編Ⅰ、旧約編Ⅱ、新約編 ぜひ全巻をお揃えください

旧約編Ⅰ

定価 1,500 円＋税

創世記からエステル記まで、聖書の英雄的な行動や悔めな失敗、信仰の輝きが、21 の説教に収められています。



旧約編Ⅱ

定価 1,500 円＋税

ヨブ記からマラキ書まで、知恵文学、詩歌、預言者たちによって語り継がれた聖化の恵みが 18 の説教に収められました。



新約編

定価 1,800 円＋税

新約聖書の各巻から 25 の説教で聖化の恵みを読むことができます。親しんでいるみことばに新しい光が与えられます。



2017年秋の聖化大会 講師ご紹介

ダイアン・レクラーク博士

ダイアン・レクラーク博士 (Dr. Diane Leclerc) は、ホーリネスの伝統を受け継ぐ米国ノースウェスト・ナザレン大学 (Northwest Nazarene University) の教授をされ、歴史神学、特にホーリネス運動やフィーベ・パーマーの研究者として著名な器です。また各地の聖会などで奉仕をされ、ウェスレアン神学会 (Wesleyan Theological Society) の会長の職を果たされた経歴もお持ちです。これまでに2つの教会で牧会をされ、その後教職の按手を受けられました。ドルー大学で歴史神学の研究で哲学博士号を取得され、大学で15年余り教鞭をとられました。

現在、米国アイダホ州にご主人、息子さんとお住まいです。2010年に *Discovering Christian Holiness: Wesleyan Theology* を出版されました。博士は、2012年の聖化大会にお迎えしたフロイド・カニンガム博士の妹さんでもあります。



2012年 聖化大会講演集

ホーリネスを生きる 神の民

フロイド・カニンガム著

定価(本体1300円+税)

カニンガム博士のセミナーの講演を纏めました。内容は、ホーリネス運動の過去から現在、将来までを展望し、私たちの前に新たな地平を開いて見せてくれます。特にホーリネス陣営で活躍した女性たちに焦点を当てた精緻な論述が目を引きます。

2018年秋の聖化大会 講師はどなたですか?

日本人の講師で行う聖化大会 地域の特徴を生かした大会に



毎年の秋の聖化大会は海外から講師をお迎えしてきました。フロイド・カニンガム博士、マイケル・ロダール博士、アラン・カページ博士、ロナルド・スミス博士、そして30周年記念聖化大会にはジョン・オズワルト博士をお迎えしました。昨年はジョー・アン・ライアン博士のエネルギーに圧倒されました。そして今年にはダイアン・レクラーク博士です。海外の講師から多くを学び、また聖化の信仰を深めて来しました。

さて、明年は私たちの仲間である日本人の講師に聖化の説教を語っていただくことになりました。各地の交友会で講師を決めていただきます。すでに私たちの周りにはすばらしい説教者が揃っています。身近な器ならではの行き届いたメッセージをお聞きできるはずですよ。私たちの欠けや弱さをよく知って、そこどどのような聖霊の御業がなされるかを説き明かしてくださいと期待しています。

2017年に開催される聖化大会

大会名	期日	講師
北海道聖化大会	5/30~31	工藤弘雄師
宮城聖化大会	9/19	石田学師
山形聖化大会	9/23	竿代照夫師
栃木聖化大会	5/21	河村従彦師
東海聖会	6/24~25	小坂嘉嗣師
東海聖化大会	10/19~20	ダイアン・レクラーク師・松浦剛師
関東春の青年大会	5/28	ザック・マッツ師
関東聖化大会	10/15~17	ダイアン・レクラーク師
ウェスレーに学ぶ会	5/23	錦織寛師
ウェスレーに学ぶ会	10/20	ダイアン・レクラーク師
岡山聖化大会	10/22	ダイアン・レクラーク師
四国聖化大会	5/28	工藤弘雄師
九州聖化大会	10/24	ダイアン・レクラーク師

* 聖化大会についての詳細は、日本聖化協会のホームページ、Facebook、Twitter をご覧ください。各地域の聖化交友会のご案内が掲載されています。http://jha.christ.gr.jp/

続々と、電子書籍化を進めます！

電子書籍化第一弾、「エマオの道で」を販売中です。昨年刊行された「聖化の説教 旧約編I」「聖化の説教 旧約編II」「聖化の説教 新約編」もすでに電子書籍として販売しています。Amazon Kindle ストアで検索してください。

お近くの聖化交友会にご加入ください

聖化交友会には教団、教会、個人でお加わりいただけます。聖化の恵みを私たちの心に、そして教会に、さらにお住まいの地域に広げてください。詳細は各地域の聖化交友会にお問い合わせください。

北海道聖化交友会／宮城聖化交友会／山形聖化交友会／栃木聖化交友会／関東聖化交友会／東海聖化交友会／ジョン・ウェスレーに学ぶ会／岡山聖化交友会／四国聖化交友会／九州聖化交友会

じっくりと聖書を学ぶために

365日の霊想 デニス・F・キンロー著

エマオの道で

世界でも屈指の説教者であったデニス・キンロー博士の著書です。365日の恵みが満載です。短い聖句が取り上げられ、歴史的なエピソードや著者の体験、聖書の物語など、霊想が綴られています。

定価3400円＋税



編集後記

聖化 61 号をお届けします。発行が遅くなってしまいました。3月末に左足首を骨折し、入院・手術で編集に取りかかることができませんでした。個人的な理由で遅れたことをお詫びいたします。

各地の聖化交友会のニュースをお聞きすると、世代交代が進んでいる様子がわかります。聖化

の恵みのパトタッチがなされていることに励ましを受けます。先輩の先生方のバックアップをいただきながら、若い世代の先生が活躍してくださるとも頼もしく感じています。さて私はどちらの世代に属するのか、複雑な気持ちです。原稿をお寄せくださった先生方に感謝します。(矢木良雄)

聖化 No.61 2017年5月22日発行